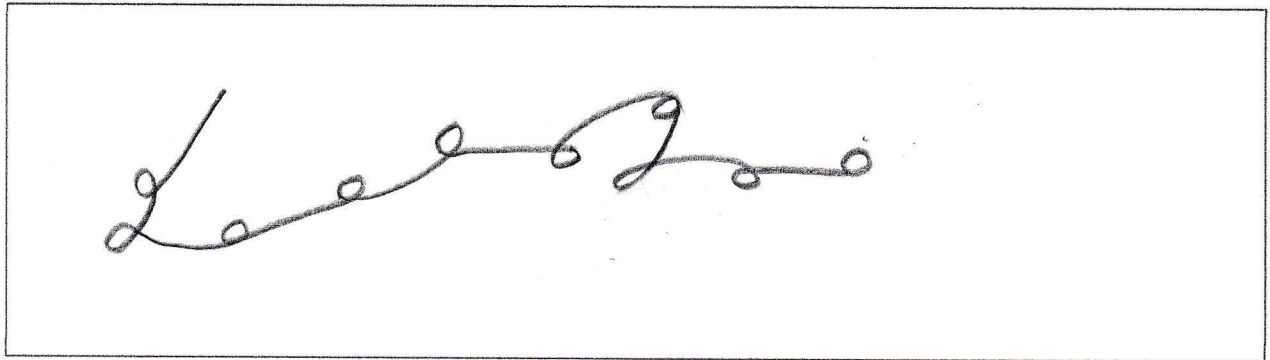


驚きの速記体験 その1

- 1 一本線が丸（○）を作りながら、続いています。






- 2 この一本の線には文字（漢字※、ひらがな）が隠れています。信じられませんね。







※ 携帯 体内 内定 訂正 政界 開催 最愛 曖昧 毎回

どういふことでしょうか。謎を解いていきます。

- (1) ○が10個あります。それぞれ前に線（線①、線②、…）が付いています。線も○も文字を表しています。○はひらがなの「い」と読みます。すると、線①と○で「…い」、線②と○で「…い」、以下同じように読みます。

- (2) ○の先にくっ付いている線も読むことができます。

線①  は「け」、線②  は「た」、線③  は「な」と読みます。

以下  「て」、 「せ」、 「か」、 「さ」、 「あ」、
 「ま」

(1) の「…い」が、それぞれ「けい」「たい」「ない」「てい」「せい」「かい」「さい」「あい」「まい」となり、二つずつ読むと「けいたい」「たいない」「ないてい」「ていせい」「せいかい」「かいさい」「さいあい」「あいまい」「まいかい」と読めます。

漢字に書き換えると、2のように「携帯 体内 内定 訂正 政界 開催 最愛 曖昧 毎回」の漢字20個になります。

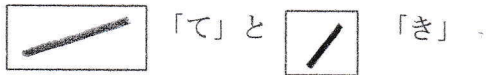
- (3) 「たいない」を体内と書き換えましたが、「体内」「隊内」とも書き換えることもできます。同じように内定は内債、訂正は帝政や低声、政界は正解や盛会とも書き換えることができます。

驚きの速記体験 その2

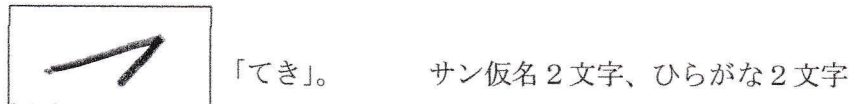
1 一本の線に文字が隠されていることを学びました。

線の文字（以下、「サン仮名」という）は「ひらがなやカタカナ」と同じように音を表します。ひらがな、カタカナと大きく違うところがあります。それは、線を重ねたり、離したりすることによって、別の読み方に変わることです。2文字書いたのに、3文字書いていることになる。ひらがなやカタカナではできないワザです。これは便利です。

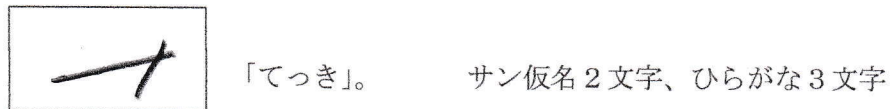
たとえば、サン仮名の



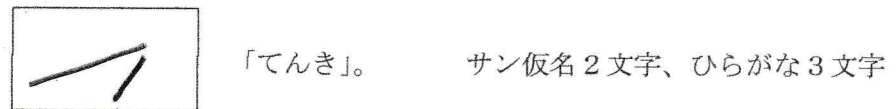
(1) 続けて書けば



(2) 交差させて書けば



(3) 離して書けば



2 このように、サン仮名で書けるようになると

(1) ひらがな・カタカナよりも画数の少ない（線量の少ない）文字が書ける。

(2) 交差させたり、離して書いたりすれば、サン仮名2文字だけで、ひらがな・カタカナの3文字分が書ける。

といった便利さがあります。

(3) 身近によく使う漢字で、画数の多いものをサン仮名で書くようにするととても便利です。氏名、地名、生活洋語、仕事で使う専門用語など

3 メモを取るときには五十音を覚えるだけで十分です。

「サン仮名五十音表」と「サン仮名の起点」を参考に、ひらがなを表すサン仮名を見つけ、ゆっくり、ていねいに書いてみましょう。 【 ウォーミングアップ 】

さらに、上を目指すと、さまざまな学びができます。 【 初級、中級、上級 】